

城東

● 城東地区 ●
1935世帯
男 1766人
女 1909人
合計 3675人
H 31.1.1 現在

**町内公民館長会の
視察研修を終えて**

町内公民館長会は11月11・12日、東京都内の3施設で研修を行った。



池袋防災館にて

〈東京消防庁 池袋防災館〉

池袋消防署の4・5階が防災館になっており、数種類の防災体験をする事ができた。

シアターで館内説明を受けてから動画観賞。東日本大震災の内容が大半であった。「福島第1原発について全く触れていないのはおかしい」と某町内公民館長がつぶやくと、「そうだねえ」と数人が相づちを打った。

消火体験では、訓練用の消火器を使って火災映像に放水

するもの。手順は①大声で周囲に「火事だ!」と叫ぶ②消火器の取手下側を片手で持つて運ぶ③ピンを外し、ノズルを火元に向けレバーを握る。そして、腰を低くし、炎でなく燃えているものに消火液を噴射するよう指導された。

煙体験では、煙の充満した通路の中を誘導灯たよりに避難するもの。身をかがめること(120cm以下の表示)や慌てて走ったり、他の人を押したりしないことが大事。

地震体験では、水平方向に動く部屋の中で大地震の擬似体験をするもの。テーブル自体が動くため、下にもぐることさえ困難であった。

説明者の「避難した後、家や仕事場に戻らないこと。戻って犠牲になる場合が非常に多い」という話が記憶に残った。自分の身を守ることが第一とは、ある意味で理解できるが、家族・友人のことを思うと、複雑な気持ちになった。

〈日本銀行 貨幣博物館〉
日銀本店の隣にあり、マニ

アには良く知られた見学場所。お金やお金に関する道具などが年代ごとに展示されていた。お金の始まりは「無文銭」「富本銭」や「和同開珎」。

江戸時代の後半からお金の統一が図られ、額の小さな貨幣が普及するようになった。

明治維新後に全国統一の貨幣単位「円」が導入され、政府が紙幣を発行した。紙幣発行機関である日本銀行は、その後一八八二年に設立された。

「時代の移りゆく中で、お金の形や使われ方は変わったが、お金の大切さは不変である」と説明書きにあったのが印象に残った。

〈調布航空宇宙センター〉

宇宙航空研究開発機構JAXA(ジャクサ)の中で、航空技術や宇宙開発の研究を行っている場所。

案内役の江川さんは、父親の仕事の関係で、旭町小学校に数年間在学されていたとのこと。ユーモアを交えた巧みな話に引き込まれた。

宇宙への飛行が模擬体験できる「スペース・ミッシェン・シミュレーター」では不思議な感覚にとらわれた。座席に腰掛け、離陸した時は冷静であったが、いつの間にか真っ暗な空間を漂っていた。

宇宙ステーションが迫って来てドッキング、任務(やることは何もない)、切り離し、そして無事帰還。

国産中型機として約40年間活躍した「YS-11(イチイチ)」のコックピットが野外展示されていた。先端部を正面から見ると、初期の新幹線にそっくり。燃費は良かったというが、その狭さから乗り心地はいまひとつであったと推察された。



YS-11の先端部

小型超音速実験機の説明などを聞き、わが国の航空技術の高さを知った。

(増田)

「その後の糸魚川大火」に参加して

12月13日、城東公民館主催地区防災部会共催の研修があり23名が参加した。

中島防災部長の挨拶に続き、原田公民館長から糸魚川大火について説明があった。

この火災は、平成28年12月22日に発生した、糸魚川駅の北側約4haを焦土と化した。「加賀の井酒造」の当主は、「我が社も大火に巻き込まれ、酒蔵と社屋を消失。清酒3千本と仕込み用タンクを同時に失った」と話された。

平成30年3月酒蔵を再建し、5月には初出荷。敷地の片隅に火災を免れた一八二八年築の「背後蔵」があり、火災のすごさを物語っていた。大火の記憶を後世に伝えるため建物を保存するという。



火災を免れた「背後蔵」

糸魚川市が平成29年度から5箇年計画で復興街づくりに取り組んでいるが、思うように進んでいないようだ。街づくりはまだ2年目であり、やむを得ない気もした。

隣接する市の防災広場予定地には看板が設置されており、「がんばろう糸魚川」と太字でスローガンが記されていた。(増田)

危険だよ！やめよう！ 『松本走り』



お先にご
どうぞ

昨年、東名高速で運転モラルの低い運転手の「あおり運転」による死亡事故で大きな反響を巻き起こしました。そんな中、師走の土曜の午後、久しぶりにやまびこ道路の交差点で『松本走り』に出くわし、右折車と間一髪衝突を免れ、肝を冷やしました。

『松本走り』とは、一部のマスコミが松本市周辺に多い危険運転方法の俗称としてテレビやインターネット上で取り上げて話題になりましたが、相変わらず？健在で現在も数多く見受けられます。

松本市周辺のマナー違反は「右折優先」と「信号無視」の二つがキーワードに集約されると言われています。

他県でもよく見られる危険運転では、右折優先の「山梨ルール」、信号無視や合図不履行の「名古屋走り」愛媛の「伊予の早曲がり」等があり、各地域の危険運転を皮肉った呼

び名のようなです。

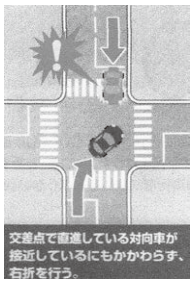
城東地区のドライバーの皆様には釈迦に説法と承知しながら、万が一の交通事故の際、被害を最小限にしながら我が身を守るための参考になればとの思いから取り上げてみました。

『松本走り』とはどんな運転・走行なのか、十数年前、某新聞紙上に掲載された名称や危険運転のパターンを参考に紹介します。

あなたは大丈夫？

松本走りの主な特徴

- ①金魚の糞(ふん)カーブ
赤信号になっても、前車にくっついて右折する。(もう一台くらい大丈夫)と後続車が追走するが、結局5台になつたりする)
- ②写し鏡右折
対向車が左折する一瞬の隙を狙って無理やり右折する。(対向車を鏡に写したような走法)
- ③自動車道 右折
故意に車のフロントを対向車線に出し、相手をストップさせたいえ、右折する。



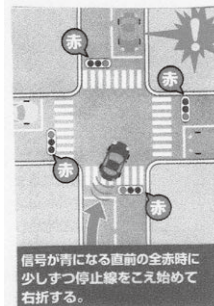
交差点で直進している対向車が接近しているにもかかわらず、右折を行う。

④強引・マイウェイ

信号が黄から赤に変わっても無視して直進する。(単なる信号無視。赤になると逆に加速する傾向がある)

⑤フライング信号

信号が青になる前の「空白の時間帯」に先走って右折する。



信号が青になる直前の全赤時に少しずつ停止線をこえ始めて右折する。

⑥びっくりカーブ

ウインカーを点灯せずにいきなり右・左折する。(本当にビックリするし、危険)

⑦サイド攻撃

脇道からいきなり飛び出し、走行車列の隙間に割り込む。(他人の善意に期待する身勝手な走法)

これらの運転の最大の要因は「運転モラルの低さ」にあり、「交通ルールの厳守とマナーの向上」に尽きると思われます。

『松本走り』の汚名返上に向けて、交通マナー向上を目指し、運転する際は、「時間に余裕」と「心にゆとり」をもち、手の掌を上にして「お

先にごどうぞ！」と、お互いに道を譲る度量の広い気持ちの良い運転をしたいものです。(柳澤)

住所の町名と町会名は何故違う？

城東地区の町会の多くは住所の町名と町会名が一致しておらず境界も複雑です。他の地区から転入して来た方不思議に思われた方もおられると思います。

昔から松本市に住んでいた方はご存知かもしれませんが、これは昭和37年に施行された「住居表示に関する法律」に基づき、松本市で昭和40年〜42年に行われた住居表示の改正によるものです。それまでは土地の区画を表す地番で住所を管理していたのですが、特に市街地においてその区分と実態が合わなくなってきたので整理し直すことになったそうです。一般に私たちが住所と呼んでいるのは、この住居表示のことです。(なお、地番は今でも土地の管理用に使われています。)松本市はこの改正に当たり地域住民同士の繋がりと気持ち尊重し、町会は変更しないこととして、今に至っています。

ところで各町会の位置と範囲を確認する方法ですが、松本市が提供している地区別ハザードマップ(城東地区)に境界の記載があります。これは市のホームページなどから確認できます。なお、市役所に相談すればもっと正確で詳細な地図を入手することもできます。

興味を持たれた方は左記の表を見ながら街の歴史と成り立ちに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

(小島)

住居表示	町会名
旭1丁目	袋町, 安原町, 北上横田町, 和泉町1丁目, 両下町, 岡の宮西
旭2丁目	天白町, 中ノ丁, 東ノ丁, 旭町, 両下町, 岡の宮, 岡の宮文園町
旭3丁目	旭町, 曙町
清水1丁目	清水中, 清水西, 元町南
城東2丁目	片端町, 南上横田町, 東町1丁目, 和泉町2丁目, 北上横田町, 袋町
女鳥羽1丁目	桜町, 下横田町, 霞町, 南上横田町, 女鳥羽町, 北上横田町
女鳥羽2丁目	北上横田町, 桜町, 女鳥羽町, 南上横田町
女鳥羽3丁目	岡の宮, 岡の宮西, 岡の宮文園町
元町1丁目	元町北, 元町中, 元町南, 清水中, 清水東
元町2丁目	元町上, 元町中, 元町北
元町3丁目	元町上, 元町北

住居表示・町会名対照表(市政80年のあゆみより抜粋)